

会 議 録

会議名	平成22年度 第3回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成22年8月17日(火) 午後2:00~午後4:50
開催場所	丸亀市役所 別館5階第1会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">石川 千晶 橘 節哉 田中 豊</p> <p style="text-align: center;">日野 明世 溝渕 由美子 山崎 純一</p> <p>(事務局)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長 大林 諭 企画課長 矢野 律</p> <p style="text-align: center;">企画課副課長 小山 隆史 企画課主任 真鍋 裕章</p> <p style="text-align: center;">財政課長 大野 順平</p>
議 題	<p>1. 事業評価について</p> <p>2. 報告書の作成について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	1名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
企画課長	<p>ただいまから、第3回丸亀市行政評価委員会を開会します。本日は大変お忙しいところ、また大変暑い中をご出席いただきまして、ありがとうございます。まずは、資料の確認をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">< 資料一覧により各委員が資料確認 ></p> <p>それでは、ただいまから、委員長に議事進行をお願いします。</p>
委員長	<p>それでは、会議を進めていきます。早速、議事に移ります。今回は議事1の「事業評価について」、議事2の「報告書の作成について」の主に2点となっています。まずは、議事1について事業ごとに評価内容について協議していきたいと思いますので、事務局より説明を求めます。</p>
企画課副課長	〔資料を基に【事業1 食生活改善事業】について説明〕
委員長	<p>ありがとうございました。それでは、今の事業1につきまして、ご意見等ありましたらお願いします。</p>
石川委員	<p>1-1(市による啓発・普及事業)については、廃止、民活協働、改善と意見は分かれています。所見を見ると、各委員の意見は同じです。このような場合についても委員の評価を1つに絞らなければならないのですか。</p>

企画課副課長	<p>各委員の意見の中身を見ますと、どの選択肢にも当てはめることができそうですので、個々の選択肢の捉え方の違いにより票が割れていると思われます。特に改善は捉える範囲が広いので難しくなりますが、そこは協議により、どう捉えることがよいのかを決めてください。</p>
日野委員	<p>人材養成の面は市の直営で残し、それ以外は、コミュニティや民間に任せて、市の直営でなくても出来ると思います。</p>
委員長	<p>1つ提案ですが、報告書のイメージについても先に事務局から説明して、報告書の書き方と合わせて議論した方がよいと思いますがいかがですか。</p>
企画課副課長	<p>分かりました。では先に報告書についても説明しておきます。 〔議事2の報告書の作成について、資料に基づいて説明〕</p>
石川委員	<p>協働の場合の相手方はだれを想定すればよいのですか。</p>
日野委員	<p>協働とは、丸亀市が、まちづくり等の場合にも用いている市と市民との協働ということであり、行政を含めたものと理解してよいですか。</p>
企画課副課長	<p>そう理解していただいて結構です。</p>
委員長	<p>ここでは、各委員は実質的には同じ意見を持っているので、その意見を最も反映している選択肢はどれかということ協議していく中で、選択肢を変更することもありえるのではないですか。私も廃止にしていますが、民活協働の方がより意見を反映できていると感じますので、民活協働に変えたいと思います。</p>
溝渕委員	<p>私は、簡単に民間に丸投げするのではなく、市でやるべき仕事は市がしなければならないという思いを持っていますので、民活協働ではなく、あえて改善を選択しました。</p>
橘委員	<p>選択肢が捉える範囲に重なる部分があるので、明確にそこを線引きして分けていくことは難しい。選択は選択として、所見で意見をまとめていく方がよいのではないですか。</p>
委員長	<p>1 - 1（市による啓発・普及事業）が一番難しいのかもしれないので、ここを改善にするか、民活協働にするかは、ペンディングにしておいて、先に進めたいと思います。1 - 2（食生活改善推進協議会委託費）についてはどうですか。多数決では改善ということになりますが、所見等についても各委員の意見が反映されていますか。</p>

各委員	これでよいです。
委員長	それでは、事業2に進みたいと思います。
企画課副課長	〔資料を基に【事業2 敬老事業】について説明〕
委員長	ご意見ご質問があれば、お願いします。
石川委員	2 - 1（市長高齢者訪問）について質問ですが、例えば税滞納者のような市政に協力的ではない人でも、希望があれば、市長は訪問するのですか。
企画課長	担当課に確認したところ、年齢以外に特に要件はないそうです。
委員長	今の石川委員の質問については、所見に追加するなどして意見を反映できるよう、事務局で最終案までに調整をお願いします。では、それ以外はこれでよいですか。
各委員	これでよいです。
委員長	それでは次に進みます。
企画課副課長	〔資料を基に【事業3 コミュニティ推進事業】について説明〕
委員長	今の段階で改善と現状継続が同数になっている3 - 1（コミュニティ運営補助金）についてどうしますか。私は現状継続にしていますが、各委員の改善についての所見を見ると、なるほどという意見ですので、あえて現状継続というよりは、改善でよいと思います。
石川委員	山崎委員に質問ですが、縦割りの無駄というのは、いろいろな部署から補助金を出しているということですか。ヒアリングの際に、そのような話題は出ていなかったように記憶しているがどうですか。
山崎委員	縦割りで、いろいろな部署から補助金が出ているということではなく、ヒアリングの際に、コミュニティ関連事業について部署間での連携が取れていないという話がありましたので、コミュニティへの対応が縦割りで、組織としての無駄があるので、それをなくした方がよいという意見です。横断的な組織を作り、市とコミュニティと距離を近くした方が、コミュニティにとっては新たな展開が生まれやすくなるのではないかと思います。

石川委員	<p>コミュニティは生活に関わることなので、必然的に市と広く関わらざるを得ない面があると思います。コミュニティには自主的な活動が求められているので、自由に市と関わっていくためにも、市とあまり近くなりすぎてもいけないのではないですか。</p>
橋委員	<p>補助金の出し方が一番の問題です。市としてはコミュニティを均等に扱うという視点を失ってはいけませんが、規模や特色によって、格差をつけることも必要です。そうして各コミュニティが特色を出していかなければコミュニティの発展はないと思います。</p>
山崎委員	<p>まったく同感です。効果の面で事業ありきか、補助金ありきかでは相当な差が出ます。コミュニティの発展を考えると、その「あるべき姿」を明確にしていくことが重要です。</p>
日野委員	<p>コミュニティの弱体化が進む中で、補助金ありきだからこそ生き延びられているという現状もあると思います。そのあたりはどうお考えですか。</p>
山崎委員	<p>現状がそうであることは理解しています。あくまで「あるべき姿」を考えた場合に、事業ありきで補助金を活用すべきということであり、現実には臨機応変に対応していくことも必要と思います。</p>
委員長	<p>では、3 - 1（コミュニティ運営補助金）は改善として、所見については、橋委員や山崎委員の意見をもっと反映させるよう修正した方がよいと思いますので、事務局の方で検討をお願いします。</p> <p>項目別評価では、3 - 1（コミュニティ運営補助金）が改善で、3 - 2（コミュニティまちづくり補助金）、3（自治総合センター助成事業補助金）、4（長寿社会づくりソフト事業補助金）が現状継続となっていますが、事業規模等を考えて、総合評価は改善とします。所見については各委員の意見を参考にしながら、修正を加えるということによろしいですか。</p>
各委員	<p>それでよいです。</p>
委員長	<p>それでは次に進みます。</p>
企画課副課長	<p>〔資料を基に【事業4 児童就学奨励事業】について説明〕</p>
委員長	<p>4 - 1（要保護者扶助費）については、改善と現状継続が同数となっていますが、どう評価しますか。同数の場合は協議で決めるルールなので、ご意見がありましたらお願いします。</p>

石川委員	<p>4 - 1（要保護者扶助費）と4 - 2（準要保護者扶助費）については、4 - 2（準要保護者扶助費）の方が、問題点としても、事業規模としても、かなり大きいウェイトを占めていますので、総合評価はそちらに引っ張られて改善になるとしても、4 - 1（要保護者扶助費）だけみると現状継続ということもあり得るのではないですか。</p>
日野委員	<p>私は、国の財政事情等により左右されている生活保護費そのものが果たして最低限度の文化的生活ができる金額になっているのだろうかという思いから、4 - 1（要保護者扶助費）については現状継続としました。生活保護世帯に限らず、子どもの教育を受ける権利が損なわれているような状況がないかを心配していますので、制度の周知を徹底するなど、そのような状況を生まないように制度を運用して欲しいと思います。</p>
山崎委員	<p>4 - 1（要保護者扶助費）については、生活保護費との重複支給が懸念されています。制度としてファジーな部分を明確化していくことは行政として必要なことであり、ファジーな部分を明確化することは改善に当たると思いますので、評価は改善がよいのではないですか。</p>
石川委員	<p>私は、支給される種類が多く、手厚い印象を受けましたので、気持ちとしては改善の方が強いです。</p>
委員長	<p>改善と現状継続のそれぞれからよい意見が出ており、意見を変えようという委員もいませんので、どちらの評価とするのがよいか判断しがたいですね。事務局はどう考えますか。</p>
企画財政部長	<p>本委員会の趣旨は、各委員からいろいろと意見をいただいて、市の事業の改善に繋げるということですので、各委員から要改善ということで意見をいただいたものは十分に見直しを行いたいという思いがあります。その点から、現状継続よりは改善の意見を尊重しなければならないと考えています。</p>
委員長	<p>では、改善という意見が出ている以上は、それは尊重したいという事務局の考えに賛同して、改善と現状継続が同数の場合は、評価は改善とするというルールにしたいと思います。では、次の事業に進みます。</p>
企画課副課長	<p>〔資料に基づき【事業5 丸亀教育推進事業】について説明〕</p>
山崎委員	<p>5 - 2（教職員等研修費）については、民活協働を選択しましたが、廃止してから民活協働で研修をすればよいということですので、廃止に変えます。</p>

委員長	<p>では、廃止と改善が同数の5 - 2（教職員等研修費）については、廃止の方が多くなりましたので廃止ということにして、ほかには何かありませんか。</p>
石川委員	<p>5 - 1（児童生徒指導充実費）については、私だけが改善としていますが、最も事業費のかかる事業にもかかわらず、効果や成果の把握、検証がほとんどなされていません。また、市としての明確な方針というわけではなく、定義のあいまいな丸亀教育に何でも含めて、職員の加配をしている現状はかなり問題があると思います。各委員の了解をいただければ、総合評価の所見だけでなく、項目別評価の所見も、そのあたりのことを反映させて欲しいのですがいかがですか。</p>
委員長	<p>確かに総合評価の所見は5 - 1（児童生徒指導充実費）から引っ張っているところが多く、項目別評価と少し整合性がとれていないように思います。ヒアリングの際には事業ごと一括りで行いましたが、評価はより評価しやすいように項目別に細分化しました。しかしながら、この事業については、細分化されすぎて評価が難しくなっているのかもしれない。ヒアリングの印象で事業の問題点をそれぞれの項目で指摘していますが、それ以外はあまり検証せずに現状継続としている可能性が高く、項目ごとに個別の判断がきちんとできているかどうか怪しいので、ここは項目別にせず、一括りで評価するという選択肢もあるのではないですか。</p>
日野委員	<p>改善については、削減という意味の改善ともっと増やすという意味の改善があります。それは選択肢だけを見ても分かりませんので、そのあたりのニュアンスをきちんと捉えて評価に反映させて欲しいです。</p>
山崎委員	<p>5 - 9（外国語指導助手招致事業費）で民活協働を選択したのは、事業主体を市から民間へ置き換えるという意味ではなく、市の事業に上乘せして民間の事業も実施するという意味を含んでいます。このような細かいこちらの意図も汲み取って欲しいです。</p>
委員長	<p>今の各委員の意見についても、このような評価の構成のままでは、反映させることは難しいのではないですか。やはり、ここについては、項目別評価はやめて、総合評価一本にした方がよいと思います。項目別で意見が出されている5 - 2（教職員等研修費）や5 - 8（学校図書館教育推進事業費）については、総合評価の所見で見出しを付けて記載するなり、強調する工夫をすればよいので、事務局で評価の構成について検討してください。</p>
企画課副課長	<p>構成を変えて、再度作成します。</p>

委員長	では、次に進みます。また、評価の構成のことになりますが、事業6（猪熊弦一郎現代美術館運営事業）については、事業8（うちの港ミュージアム運営事業）と同じく項目が1つしかないので項目別評価はやめて、総合評価一本にまとめた方がよいのではないですか。
企画課副課長	分かりました。そのように改めます。
委員長	所見の内容についてはどうですか。ヒアリングの際に石川委員が余剰金のことを聞いて、後日回答することになりましたが、結果はどうでしたか。
石川委員	その後のやり取りで、結果としては、問題ないと確認しました。
各委員	では、この内容でよいです。
石川委員	ここの評価について、日野委員は事業に関連する団体に属していますので、評価するのは難しいのではないですか。
日野委員	私は、猪熊弦一郎現代美術館の指定管理者の理事ですので、ここの評価は自分のことを自分で評価するようになります。私の評価は外してください。
委員長	分かりました。それでは、次の事業に進みます。
企画課副課長	〔資料に基づいて【事業7 市民講座開催事業】について説明〕
委員長	7-2（コミュニティ主体の事業）については、改善と現状継続が同数ですが、1つの事業に事業主体が2つあるという状況で、片方を改善するときに、二次的なものであれ、もう片方も何らかの影響を受けるはずですが、現状継続というよりは改善になると思います。ほかに何か意見はありますか。
日野委員	市では、民間では採算が取れないので手を出さないが、興味深く、意外と重要な講座を開催しています。そのようなものはぜひ残して欲しいです。
石川委員	今の日野委員の意見はぜひ反映させて欲しいです。
委員長	では、総合評価の所見に反映させるということにして、次に進みます。
企画課副課長	〔資料に基づいて【事業8 うちの港ミュージアム運営事業】について説明〕
委員長	ここでは、各委員の評価が1名分足りないようだがなぜですか。

石川委員	政策形成途中であり評価できないと考えて、私が棄権しました。
委員長	事業6のときの日野委員のように明確な棄権理由がないので、評価しておいた方がよいと思うがいかがですか。
石川委員	わかりました。評価します。
委員長	それ以外では何かありますか。
各委員	これでよいです。
委員長	では、次に進みます。
企画課副課長	〔資料に基づいて【事業9 四季のまつり開催事業】について説明〕
日野委員	9-2(まるがめ婆娑羅まつり)の所見ですが、参加費については、徴収すべきという意見ではなく、今年から徴収すると聞きましたので、常に適正な価格を検討すべきという意見なので、そういう表現に改めて欲しいのですがいかがですか。
企画課副課長	少し意味を取り違えていましたので、直します。
委員長	ほかに意見もないようなので、次に進みます。
企画課副課長	〔資料に基づいて【事業10 商工業・農林融資事業】について説明〕
委員長	10-7(土地改良事業資金融資)は廃止と現状継続が同数ですが、どうしますか。
日野委員	この事業については、苦手な分野であり、分からないので現状継続を選択しました。事業を熟知されている委員が廃止が妥当と判断されているのを見ると、廃止が妥当なのだろうと思うので、廃止でもよいです。
委員長	ここも、事業5と同じく、一括りで評価した方がわかりやすいと思います。各委員の意見については総合評価の所見に入れ込む形にしたいのですがいかがですか。
各委員	それでよいです。

委員長	<p>それでは、ペンディングしておいた1 - 1（市による啓発・普及事業）に戻ります。同じ意見ですが、選択肢の票が割れているのをどう評価するかという問題ですが、所見に十分に意見を反映していれば、選択はこのままの形を生かしてもよいと思いますがいかがですか。</p>
各委員	<p>それでよいです。</p>
石川委員	<p>民活協働という言葉ですが、イメージ的に協働民活の方がしっくりくるので、変えられませんか。</p>
企画課副課長	<p>それは変えておきます。</p>
委員長	<p>あとは4 - 1（要保護者扶助費）がペンディングですが、ここも項目別に分けずに、意見は総合評価の所見で拾うという解決策がありますがいかがですか。</p>
各委員	<p>項目別に分けないでよいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、まとめると、まず事業4、5、6、8、10については項目分けをしないで、総合評価で一括りの評価にします。次に、細かいところの修正意見については事務局で修正して、次回会議の事前に配布することとして、各委員は出来上がった報告書を十分に確認してください。このあたりは緻密にやりたいで、よろしくをお願いします。</p> <p>では、次に議事2の報告書の作成についてですが、事務局には先ほど説明していただいたので、意見等はありませんか。7ページのその他全般的な意見のところはどうですか。</p>
日野委員	<p>報告書の中でここだけ各委員が書いた意見をそのまま載せていますので、報告書の表現方法の統一という意味からはどうかと思います。意味を損なわないように表現をまとめた方がよいのではないですか。</p>
石川委員	<p>このような形で載るという認識で再度、各委員に書き直してもらってはどうか。各委員とも書いた時点ではこういう形で載るとは思っていなかったのではないですか。</p>
委員長	<p>「市の政策について」というところは、各委員からいろいろな意見が出たということで、意見ごとに載せておいてもよいですが、「外部評価を終えて」については、委員会として1つの文章にまとめて、統一的な意見にした方がよいように思いますがいかがですか。</p>

各委員	委員長に一任します。
委員長	<p>それでは、表現の訂正や、他に反映させたい意見がある委員は事務局に早めに連絡してください。私もこの形をベースとして事務局と相談しながら報告書をまとめたいと思います。それでは、最後に議事3のその他ですが、事務局から何かありますか。</p>
企画課副課長	<p>先ほど委員長の話にもありましたように、報告書については、本日指摘された箇所を修正して、報告書(案)として次回会議の前に事前に送付しますので、お気づきの点や修正する点がありましたら、事前にご連絡ください。会議当日までに再度修正します。</p> <p>また、次回の会議は9月2日(木)の午前中ということですが、報告書(案)について1時間程度協議して、報告書を固めた後に、引き続いて11時30分頃から市長への報告を予定しています。いかがですか。</p>
委員長	<p>では、各委員の都合も考慮して、次回会議は9月2日(木)午前10時から開始して、会議終了後午前11時30分頃から、都合のつく委員は市長報告にも参加するということにします。</p>
企画課副課長	<p>あと、第2回の会議録ですか、ご覧いただいた内容でよろしければ、ホームページで公開したいと思いますが、よろしいですか。</p> <p><全委員が了承></p>
委員長	<p>以上をもちまして、本日の委員会を終了します。皆さんお疲れさまでした。</p>